

カテゴリ	No.	機能	新機能・改善項目	Standard Edition	Professional Edition	
タイムシート	1	予定インポート	Outlookに加え、Notesからも予定のインポートができるようになりました。	●	●	
	2	実績入力ビュー	他のアカウントのタイムシートを閲覧する際、複数のタイムシートが一度に開けるようになりました。	●	●	
	3		[プロパティ]ペインの展開状態をユーザごとに保存できるようになり、さらに便利に使えるようになりました。	●	●	
	4		実績のツールチップ表示にメモのテキストを表示し、メモがより有効に活用できるようになりました。	●	●	
	5		タイムシートの初期表示時刻を9時から8時に変更しました。	●	●	
	6		オフラインファイル	オフラインファイルをタイムシート画面にドラッグ&ドロップすることで開けるようになりました。	●	●
プランナー	7	Microsoft Projectからインポート	Microsoft Projectからインポート可能なファイルの種類にXML形式を追加しました。また、Microsoft Projectがインストールされていない環境でもインポートできるようになりました。	●	●	
	8	Microsoft Projectへエクスポート	プロジェクトの計画をMicrosoft Project形式(XML)でエクスポートできるようになりました。	●	●	
	9	Microsoft Projectビューア	Microsoft Projectのデータ(プロジェクトファイル)をTimeTracker FX上で直接閲覧できるようになりました。	●	●	
	10	フィールド書式設定	数値フィールドに書式を設定し、内容に応じた表示形式にすることが可能になりました。	—	●	
	11	印刷	ガントチャートをモノクロで印刷する際のカラーヘッダの色を変更し、見やすくなりました。	●	●	
	12	タイムシートとの連携	リソース負荷画面からタイムシートを開く際、選択したセルの日付に連動してタイムシートを開けるようになりました。	●	●	
	13	オフラインファイル	オフラインファイルをプランナー画面にドラッグ&ドロップすることで開けるようになりました。	●	●	
ダッシュボード	14	プロジェクトモニタ	オフラインファイル表示時でも、カスタムフィルタ・オートフィルタの式・ガントテーブル書式・ガントバー書式が利用可能になりました。	●	●	
	15		画面の表示状態を記憶し、次回表示時に復元できるようになりました。	●	●	
	16		工数入力マルチモニタ	工数入力の定着状況を確認するためのモニタを搭載しました。	●	●
	17		工数入力推移モニタ	工数入力の定着状況の推移をグラフで確認するためのモニタを搭載しました。	●	●
	18		工数入力モニタ	工数入力モニタからタイムシートを開く際、複数のタイムシートが一度に開けるようになりました。	●	●
アナリスト	19	プロジェクト推移モニタ	工数入力モニタからタイムシートを開く際、選択したセルの日付に連動してタイムシートを開けるようになりました。	●	●	
	20		表示可能な項目に「工数入力定着率」を追加しました。	●	●	
	21		「推移モニタ」の名称を「プロジェクト推移モニタ」に変更しました。	●	●	
ピボット分析	22	ガントチャートビュー	カスタマイズ設定で、表示対象プロジェクトのフィルタ条件に工数入力定着率を追加しました。	●	●	
	23	タイムシートとの連携	リソース負荷画面からタイムシートを開く際、選択したセルの日付に連動してタイムシートを開けるようになりました。	●	●	
Administrator	24	ピボットグラフ	ピボットグラフの種類に円グラフを追加しました。	—	●	
	25	データ・グラフのコピー	グラフの配色を変更し、各項目がより識別しやすくなりました。	—	●	
	26		ピボットグラフにコンテキストメニューを追加し、データやグラフのコピーが可能になりました。	—	●	
オートメーション	27	通貨設定	TimeTracker FXで使用する通貨を円(¥)とドル(\$)から選択できるようになりました。	●	●	
	28	定着基準日設定	工数入力の定着状況を判定するための基準値を設定できるようになりました。	●	●	
	29	権限の追加	工数入力の定着状況を確認するモニタ(定着モニタ)を使用するための権限を追加しました。	●	●	
エディション	30	ダッシュボード	工数入力マルチモニタの集計情報を取得するメソッドを追加しました。	●	●	
	31	Administrator	工数入力推移モニタの集計情報を取得するメソッドを追加しました。	●	●	
	32		工数入力定着を判定する基準値を取得するメソッドを追加しました。	●	●	
	33		工数入力定着を判定する基準値を設定するメソッドを追加しました。	●	●	
	34		取得・設定可能な権限に、定着モニタを使用するための権限を追加しました。	●	●	
対応環境	35	Standard Editionの機能追加	プランナーで、Professional Editionのみ搭載していたカスタムフィルタの編集が利用できるようになりました。	●	—	
	36	Standard Editionの機能追加(オートメーション)	プランナーで、Professional Editionのみ搭載していたテーブルの追加が利用できるようになりました。	●	—	
	37		プランナーで、Professional Editionのみ搭載していたガントテーブル書式の追加が利用できるようになりました。	●	—	
	38		プランナーで、Professional Editionのみ搭載していたガントバー書式の編集が利用できるようになりました。	●	—	
	39		プランナーでカスタムフィルタをインポートするメソッドが、Standard Editionでも利用できるようになりました。	●	—	
	40	プランナーでテーブル定義をインポートするメソッドが、Standard Editionでも利用できるようになりました。	●	—		
	41	プランナーでテーブル定義を選択するメソッドが、Standard Editionでも利用できるようになりました。	●	—		
	42	プランナーでガントテーブル定義をインポートするメソッドが、Standard Editionでも利用できるようになりました。	●	—		
	43	プランナーでガントテーブル定義を選択するメソッドが、Standard Editionでも利用できるようになりました。	●	—		
	44	プランナーでガントバー定義をインポートするメソッドが、Standard Editionでも利用できるようになりました。	●	—		
45	プランナーでガントバー定義を選択するメソッドが、Standard Editionでも利用できるようになりました。	●	—			
対応環境	46	64ビット版クライアントOSに対応	Windows 7の64ビット版に対応しました。	●	●	
	47	最新のサービスパックに対応	Windows Server 2008 R2 SP1ならびにWindows 7 SP1に対応しました。	●	●	
	48	最新のOffice環境に対応	Microsoft Office 2010(Excel 2010、Outlook 2010)ならびにMicrosoft Project 2010に対応しました。	●	●	
	49	仮想環境に対応	Hyper-Vに対応しました。	●	●	

●: 新機能・改善機能

—: 使用できない機能

※ 記載内容については予告なく変更される場合があります。